

第1回 和田地域づくりを考える会概要

開催日	平成21年8月5日	開催場所	南房総市和田コミュニティセンター3階		
参加人数	49人	開催回数	1	開催時間	午前1時30分 ～ 午前4時00分

1. 開催内容

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 和田地区地域力創成協議会 経緯・経過説明
5. 市民協働による地域づくり（千葉工業大学 鎌田元弘教授）
6. 地域づくり協議会の概要説明（我々の目指す先は・・・）
7. ワークショップ（和田地域を元気にするには？）
8. その他
9. 閉 会

【概要】

- 1 開 会
- 2 石井 裕 市長あいさつ
 - ・多くの方に参加していただき大変ありがたい。
 - ・この地区をモデルケースとして全市に展開されることを期待する。
- 3 和田地区地域力創成協議会 庄司 眞敏 会長あいさつ
 - ・いままで協議会で検討を重ねてきたが今回の考える会に多くの方が参加ありがたい。
 - ・より具体的に協議が進むことを期待し、活性化に結びつくことを期待している。
- 4 和田地区地域力創成協議会 経緯・経過説明（平川主任主事）
 - ・いきがい、にぎわい、安全・安心という機能を和田人が地域を支える。
 - ・和田支所を拠点として整備を進めることになった。
 - ・今後は和田地域の地域づくりを協議していただきたい。
 - ・拠点施設について何が必要なのかを協議していただきたい。
- 5 市民協働による地域づくり（千葉工業大学 鎌田元弘教授）
 - ・ワークショップとは、ひとつの協働作業でもある。
 - ・新しい公共という概念には市民参加が必要である。
 - ・日本での三島市の事例（湧水からの市民参加の地域再生）
- 6 地域づくり協議会の概要説明（座間主査）
 - ・なぜ、協働のまちづくりをすすめるのか
 - ・市民と行政のすすめる住みよい街づくりが進むためのエンジンとなる。
 - ・これからのスケジュールや予算措置についての説明

- ・参加者の進め方で地域がよりよい方向に進むために

7 ワークショップ（和田地域を元気にするには）（鎌田教授概要説明）

受付にて指定の班編成によりワークショップを行う。

鎌田教授によりワークショップの基本についての概要説明

- ・他人の意見を否定しない
- ・メモには1つの意見
- ・恥ずかしがらない

等々ワークショップ第1回目にあたっての進め方を説明ののち班別行動

- 1班 交流で元気にする和田づくり
- 2班 和田のいいところ
- 3班 和田のよいところ残したいところ改善したいところ
- 4班 埋もれた宝の山の発掘
- 5班 サーファーを海から丘へ
- 6班 和田の魅力を再発見
- 7班 一地域愛一
- 8班 和田の元気な海

をそれぞれテーマに選び、班ごとに班員同士意見を交換しながら模造紙大の紙に作業を展開

（作業後、班ごとに発表を行い鎌田教授より講評をいただく。以下講評）

- 1班 渡り鳥交流など新しい交流についての考え方がよい。
- 2班 この作成したものから何が導き出せるかということがこの作業の課題でもある。
- 3班 いいものと、残したいもの。古いものでもよいものがある。気づくことが大事
- 4班 宝の山として地域のいろいろな特徴が現れたので、これをよい方向に活用する。
- 5班 包括的な進み方から、個別に議論がすすんだ。サーファーという着眼点もよい。
- 6班 客観的に地域を見つめなおすことができている。次回からも期待できる。
- 7班 班員もいろいろ悩みながらも進むことができた。地域愛というテーマもよい。
- 8班 元気の源を探し出し、それがより進むことが地域の活性化につながる。

8 その他

- ・川名正敏さんより、『空のまち』という小冊子配布と説明
- ・名簿作成の了承についての説明
- ・次回は事務局より調整のうえ連絡

9 閉会